株式会社ツカサ

2023　年度　　環境経営レポート

（対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日）

エコアクション21
認証番号0011781

作成日：　2024年12月23日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

□ごあいさつ

当社は、昭和47年の会社設立以来　命の源である”水”と”空気”を安全に届ける配管工事の専門業者として、営業活動を続けて参りました。
お客様からの信用を第一とし、社員の幸福を目指して、当社に拘わりのある全ての人の幸福を目指して、営業を続けて参りました。

”明るく　楽しく　信用を第一とし　丁寧な工事を通して　社会の発展に寄与する”
を社是とし”一歩一歩”歩んで参りました。

これからも常に”夢”を持ち、配管工事の専門業者として、皆様方に必要とされる愛される企業を目指して参ります。

衛生設備工事・空調設備工事・消火設備工事・ユーティリティ設備工事等あらゆる分野に対応できる技術力を積み重ね着実に成長して参りました。最近では生産性を上げるために、自社工場での配管加工を推し進め、配管のプレハブ化を積極的に計っております。
このことによりお客様から信頼を頂き、安定した発注を頂いております。
これからも常に”夢”を持ち、”感謝”の気持ちを忘れずに、皆様方に必要とされる愛される企業を目指して参ります。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

弊社は昭和47年の設立以来、配管工事の専門業者として重要な社会ｲﾝﾌﾗである「水」をお届けするという使命の下、産業の発展と地域社会や自然環境との共存に尽力してまいりました。「水」を扱う専門工事業者として、環境問題の深刻化は社会生活を揺るがす大きな課題と捉えています。持続可能な社会の発展、未来ある子供、子孫に「安全な水」を届けれるよう、本業である配管工事の設計施工を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的・継続的に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制等を遵守します。

２．地球温暖化防止の為電力及び車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．資源を大切にし、4R（ﾘﾌｭｰｽ、ﾘﾃﾞｭｰｽﾞ、ﾘｭｰｽ、ﾘｻｲｸﾙ）を推進します。

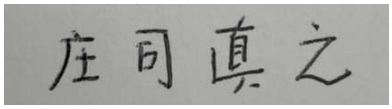
４．水使用量の削減に努めます。

５．配管材料の無駄をなくすため、工場にてﾌﾟﾚﾊﾌﾞ配管を推進します。

６．定期的な環境教育を行い、従業員の環境意識の向上を図る。

７．会社周辺の清掃活動を積極的に行う。
（会社周辺・河川・公園など地域清掃、学校との協働、イベント参加など）

制定日：2016年9月1日
改定日：

代表取締役会長 

□組織の概要

更新日： 2024年12月11日

（1）名称及び代表者名
株式会社ツカサ
代表取締役　庄司　真之

（2）所在地
本　　社　　大阪府大阪市都島区御幸町１丁目３番２号
東大阪工場　　大阪府東大阪市若江南町3丁目8-44
東大阪倉庫　　大阪府東大阪市若江南町3丁目8-19

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　代表取締役　　庄司　宝　　TEL：０６－６９２３－７８４８
担当者　　西川千絵子　　TEL：０６－６９２３－７８４８

（4）事業内容
管工事業　　大阪府知事許可（特－3）第69286号
消防施設工事業　　大阪府知事許可（般－3）第69286号

（5）事業の規模
売上高　　11.3 億円

	本　　社	東大阪工場	東大阪倉庫	合計
従業員　　名	22　名	2 名	0 名	24
延べ床面積　㎡	472.2　㎡	208 ㎡	297.03 ㎡	977.23

（6）事業年度　　10 月　1 日　～　9 月　30 日

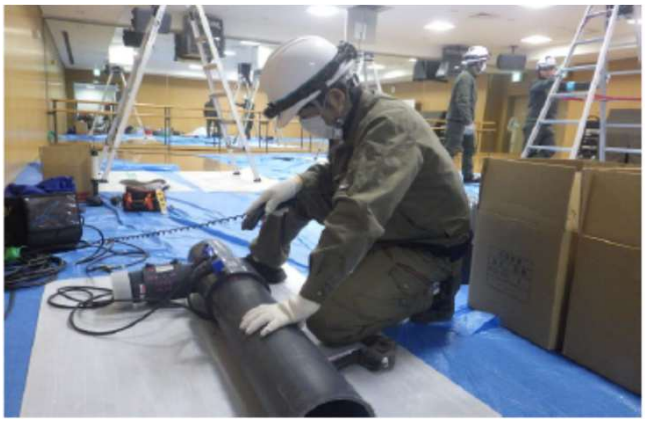
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　株式会社ツカサ
対象事業所：　　本　　社
東大阪工場
東大阪倉庫(2023年度に拡大)

対象外：　　なし
活動：　　給排水衛生設備・空気調和設備・消火設備
その他各種設備配管工事設計施工

□事業や製品(商品)の紹介

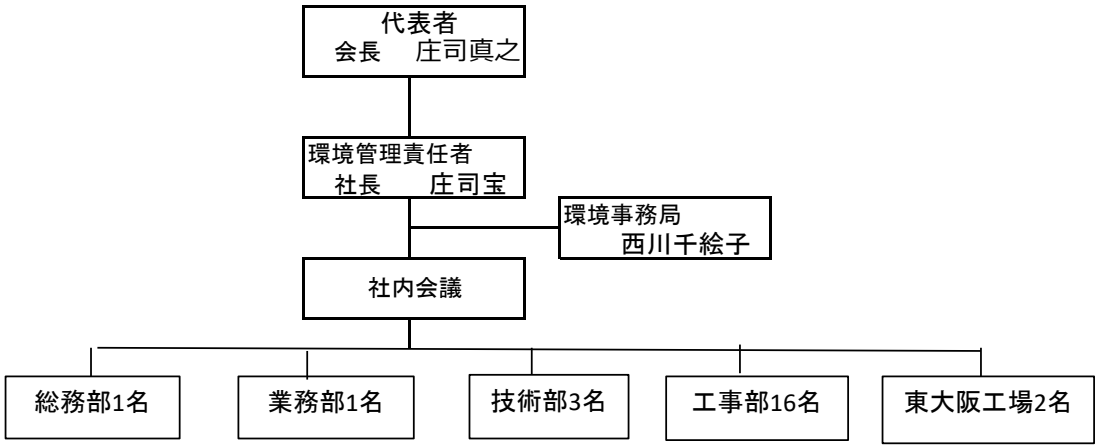
工場での加工を行っています、溶接作業やフレアマシーンにて作業を行います



養生を行い、作業を進めます

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年12月13日　　トップ



	役割・責任・権限
代表者（会長） 庄司　真之	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 （社長） 庄司　宝	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局 西川千絵子	・環境管理責任者の補佐、社内会議の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
社内会議 月末開催	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長 松本圭祐 中西規博 楠木良恵 西川千絵子 福田義三	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	65,614	55,455	55,978
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kｇ	587	601	625
産業廃棄物排出量	kｇ	450	1,820	4,380
総排水量	m^3	207	163	

※二酸化炭素排出係数　0.351　kg-CO2/kWh　関西電力調整後排出係数(2020年度実績)
※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値 (基準年)	2023年 (目標)	2023年 (実績)	評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	14,130	13,989	15,269	×	13,847	13,706
	kg-CO2/人・日	4.28	4.23	4.56	×	3.62	3.62
	基準年度比	2022年	99%	106%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	43,285	42,852	40,709	○	42,419	41,986
	基準年度比	2022年	99%	94%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	57,415	56,841	55,978		56,266	55,692
一般廃棄物の削減	kｇ	601	589	625	×	589	583
	基準年度比	2022年	98%	104%		98%	97%
水道水の削減	m^3	220	218	231	×	216	213
	基準年度比	2022年	99%	105%		98%	97%
工場でのプレハブ配管製造の稼働率向上	人日/年	420	444	1,096	○	462	504
	基準年度比	2017年	115%	261%		120%	125%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

※電力のKg-CO2/人は総電力量による二酸化炭素排出量を稼働人数(事務所+工場)で徐したものとする

□環境経営計画の取組結果とその評価

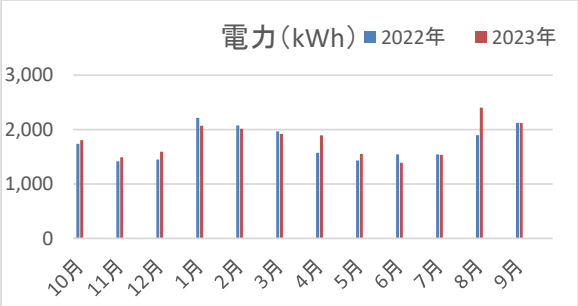
数値目標：〇達成　×未達成

活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

トップ

様価の総

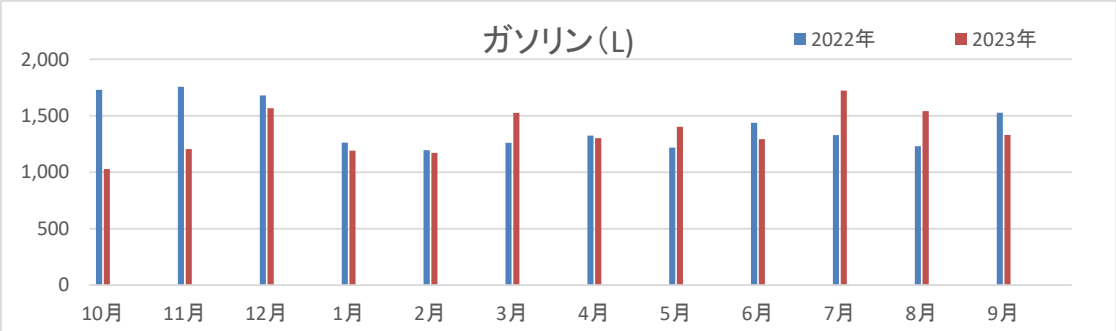
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	工場での加工が年々増えてきています。その為、電気使用量はどうしても増えてしまいますが現場での効率化は図れており、このままのスタンスで今後も作業を行う方針です。ただ、無駄な電力は使わないように社員全員への発信は継続して行っていきます。1人当たりの総排出量は少なくなっています。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・ノー残業デーの実施	△	
・空調機の更新	〇	



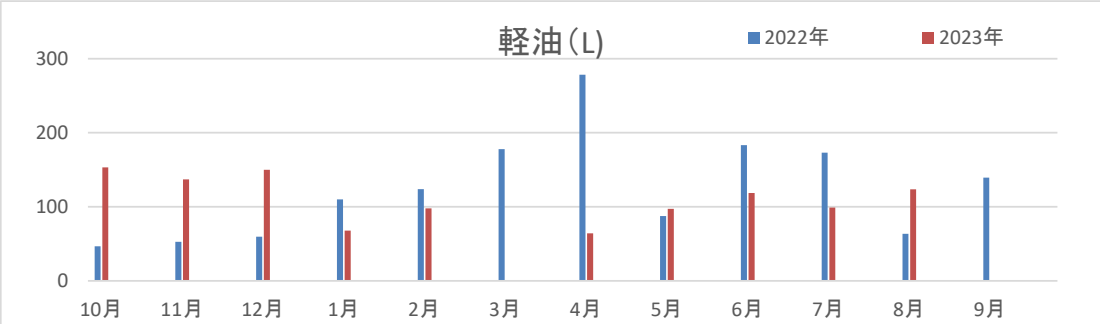
取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,740	1,418	1,450	2,215	2,077	1,968	1,573	1,432	1,545	1,545	1,896	2,123
2023年	1,806	1,492	1,596	2,072	2,014	1,920	1,895	1,554	1,391	1,536	2,404	2,120

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	相乗りの推進は社員全員が周知しております。車の入替も完了し、削減は進められています。今年は近い現場が多かったので、目標をクリアできました。
・アイドリングストップ	〇	
・相乗りの推進	〇	
・エコカーの導入	〇	

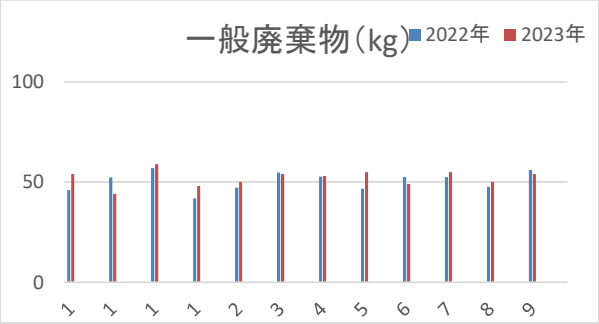


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,730	1,757	1,680	1,262	1,196	1,261	1,325	1,218	1,438	1,329	1,230	1,527
2023年	1,028	1,206	1,567	1,191	1,171	1,526	1,302	1,403	1,294	1,723	1,542	1,330



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	47	53	60	110	124	178	278	88	183	173	64	139
2023年	153	137	150	68	98	0	64	97	119	99	124	0

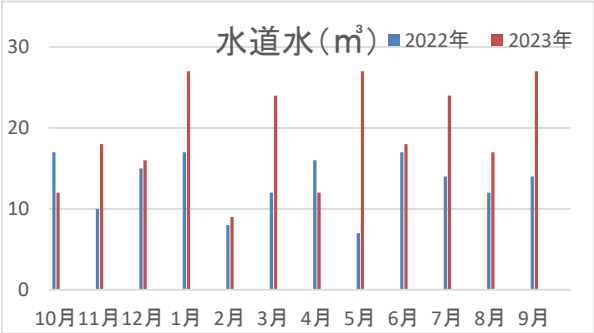
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	毎月の微増で目標は達成できませんでしたが、〇になる月がもう少し増えるように今後取り組んでいきたいと思っています。
・分別の徹底	〇	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・裏紙の活用	△	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	46	52	57	42	47	55	53	47	52	52	48	56
2023年	54	44	59	48	50	54	53	55	49	55	50	54

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	社員の節水の意識は格段に向上してきました。意識はこのまま持ち続けて来年はもっと達成できる月が増えるように取り組んで行きたいと思います。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	〇	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	17	10	15	17	8	12	16	7	17	14	12	14
2023年	12	18	16	27	9	24	12	27	18	24	17	27

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
新規事業製品を使用し環境に配慮する	○	ゼネコンへのプレゼン、アルカリ電解水の有効性の検証等を行い今後について検討を重ねています。来期は商品を率先して使用しておりましたが、製造元が経営破綻により、電解水の生成が困難となりました。現在、弊社でも取り組めることを模索しております。

取組紹介欄

会社周辺の清掃活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
会社周辺の清掃活動	○	週1回の会社周辺の清掃実施

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

トップ

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	自社運搬（廃棄物の収集運搬許可取得）のみ	○
建設リサイクル法	工事に伴う廃材	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・スポットクーラー	○
顧客要求事項	品質管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2023年11月14日　午後13時半～14時	■実施場所 ㈱ツカサ　3F会議室
■参加者：　中嶋、楠木、西川	■実施内容 事務所火災発生を想定し避難経路確認・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 □　あり ☑ なし

年に1回の実施により、使い方の確認ができるため、必要なことだと再認識する
梯子がおりてくるところには物を置かないようにしておく

■実施状況の様子
事務所内3F会議室で火災が発生したと想定し、避難経路確認、消火活動訓練を行う。
普段使用しない3F、2F避難はしごの定期点検も行う。
消火器の点検も行う。

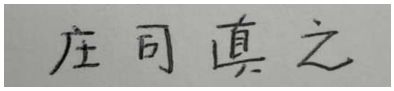
□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年12月20日

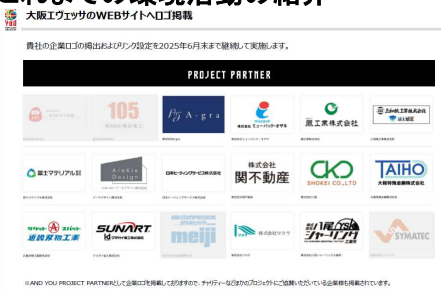
ｴｺｱｸｼｮﾝ21への取組が始まり、おおよそ7年が経過しました。2022年に事業再構築補助金で東大阪倉庫を建設しました。ストックヤードができたこともあり工場における稼働率があがり、稼働人数が増大しました。前回の報告よりも更に稼働率が上がったことにより使用電力が増えております。作業員不足、働き方改革により労働人口、労働時間の減少の中でいかに生産性をあげるかは、工場加工によるオフサイト生産が鍵となってきています。
我々の業種は現場で加工することもあり、現場での使用電力を把握することはできません。当社だけの数値で判断すると環境負荷が大幅に増えているように見られますが、現場も含めてトータルで考えると、工場での加工（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ）は安全面、環境面、経済面においても効率化が図られていると考えます。レポートにある数値だけではなかなか比較できない現場を含めた評価をどうするかは今後の課題と考えております。
また、2022年より「マジオ―」という配管ねじ部の洗浄剤を発売しておりましたが、、残念なことに製造元が2024年三月に倒産してしまい、この事業について一旦白紙となってしまいました。
新たな環境活動としましては、大阪のプロバスケットボールチームである大阪エヴェッサのエコ活動に協賛し会場の分別回収の推進、マイボトルの持参　ワークショップの実施など子供達への啓蒙活動にも取り組んでいます。
これからも自社だけの環境活動ではなく、社会全体の活動に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

代表取締役



□これまでの環境活動の紹介



大阪エヴェッサ環境活動協賛

冷房、暖房推奨温度掲示

節水掲示

節電掲示

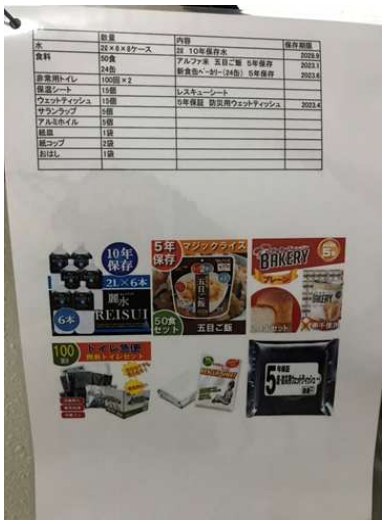
裏紙の再利用

ゴミの分別

H29年度「優秀建設施工者」青年部門　受賞

産業廃棄物収集運搬許可取得

H29年度「優秀建設施工者」熟練工部門受賞



備蓄品を社内に保管するようにしました

HPをリニューアルしました

トイレを和式から節水型の
洋式トイレに改修しました

エアコンを省エネタイプにしました

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　株式会社ツカサ

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2023年3月8日

日本健康会議

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

健康経営優良法人に認定されました
申請しています

□編集後記

年月が経ってきたため、何を行えばいいかが分かってきて、
負担に感じる作業が少なくなってきました。
毎月の月末の会議にて車の走行距離を確認も、
何も言わなくても距離を伝えにきてくれるようになりました。
毎日のゴミの重さを図る作業も忘れることなく行っています。
社員へのエコアクションの取り組みが浸透していることを感じています。